

令和5年第3回定例会(9月議会)  
産業観光委員会・分科会 提出資料

令和5年9月11日  
産業労働部

【議案(認定)関連】

公 営 企 業 課	令和4事業年度秋田県公営企業会計決算説明資料 .....	(別冊)
	令和4年度秋田県公営企業会計未処分利益剰余金の処分について .....	1

令和4事業年度

秋田県公営企業会計決算説明資料

電 気 事 業 会 計  
工 業 用 水 道 事 業 会 計

産業労働部公営企業課

## 目 次

I	事業概況	・ ・ ・ ・ ・	1
II	会計		
	1 電気事業	・ ・ ・ ・ ・	3
	2 工業用水道事業	・ ・ ・ ・ ・	6

# I 事業概況

## 1 業務の状況

### (1) 電気事業

電気事業は、16発電所を有し、主に東北電力(株)に対し、年間4億2,735万7,319kWhの電力を販売しました。

電力量は、年間の降水量、本川流量が平年を上回ったことにより、前年度に比べ、6,693万4,301kWh、18.6%増加しました。

表-1【電力量】

(単位：kWh、%)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
電力量	427,357,319	360,423,018	66,934,301	18.6

### (2) 工業用水道事業

工業用水道事業は、29事業所に対し、年間5,788万9,642m<sup>3</sup>の工業用水を供給しました。

給水量は、1事業所の新規供給開始による基本使用水量の増加などにより、前年度に比べ、2万458m<sup>3</sup>、0.1%増加しました。

表-2【給水量】

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
給水量	57,889,642	57,869,184	20,458	0.1

## 2 建設投資状況

### (1) 電気事業

電気事業は、建設や改良工事に18億1,236万7千円を支出しました。  
 主なものとして、建設費は、成瀬ダム工事費負担金5億893万7千円などを支出しました。  
 改良費は、小和瀬発電所導水路改良工事1億608万4千円などを支出しました。

表－3【建設投資額】 (単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
建設投資額	1,812,367	2,402,938	△ 590,571	△ 24.6
建設費	1,176,958	851,622	325,336	38.2
改良費	635,409	1,551,316	△ 915,907	△ 59.0

### (2) 工業用水道事業

工業用水道事業は、改良工事に1億5,019万6千円を支出しました。  
 主なものとしては、勝平送配水流量計更新工事2,907万5千円などを支出しました。

表－4【建設投資額】 (単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
建設投資額	150,196	203,343	△ 53,147	△ 26.1
改良費	150,196	203,343	△ 53,147	△ 26.1

## 3 職員数

令和4年度末の公営企業職員数は、108名です。うち支弁職員は106名で、前年度に比べて4名増加しました。

表－5【職員内訳】 (単位：人)

年 度	本 局						事 務 所				合 計
	部長	次長	課長・室長	政策監	公営企業課・発電所建設室	計	大館	玉川	秋田	計	
令和4年度	(1)	(1)	2	1	39	42	20	20	24	64	106 (108)
令和3年度	(1)	(1)	2	0	37	39	20	20	23	63	102 (104)
増 減	0	0	0	1	2	3	0	0	1	1	4 (4)

※部長・次長は、一般職員との併任で、給与は一般会計から支出されています。

## II 会計

### 1 電気事業

#### (1) 決算の概要

表－6 【 令和4年度決算の概要 】

収益的収支 経営活動に及ぼす効果が1事業年度に限られるもの →損益計算書に反映		資本的収支 経営活動に及ぼす効果が長期間にわたるもの →貸借対照表の増減に反映	
収益的収入 5,043,525千円	収益的支出 3,617,642千円	資本的収入 60,636千円	資本的支出 1,907,199千円
営業収益 5,013,069千円	営業費用 3,434,258千円	受託金	建設費 1,176,959千円
	営業外費用 ほか	工業用水道事業会計からの 長期貸付金償還金	
	収支差1,425,883千円	固定資産売却代金	改良費 635,409千円
	(参考) 当年度純利益(税抜) 1,266,035千円	収支差 △1,846,563千円 収支差 (長期貸付金償還金除く) △1,886,313千円	
営業外収益 ほか		補てん	企業債償還金 94,831千円
		補てん財源内訳	
		中小水力発電開発改良積立金	1,073,040千円
		損益勘定留保資金	653,425千円
		消費税資本的収支調整額	159,848千円

## (2) 損益計算書

表－7【損益計算書の状況】

(単位：円)

科 目		損益計算書		
		令和4年度	令和3年度	増減額
経常収益	営業収益	4,557,342,152	4,363,303,738	194,038,414
	うち電力料	4,519,798,020	4,315,946,510	203,851,510
	財務収益	1,099,022	1,451,808	△ 352,786
	営業外収益	28,685,454	31,228,416	△ 2,542,962
	経常収益合計 A	4,587,126,628	4,395,983,962	191,142,666
経常費用	営業費用	3,295,486,196	3,431,695,973	△ 136,209,777
	水力発電費	2,972,510,685	3,154,756,510	△ 182,245,825
	送電費	39,416,589	36,060,266	3,356,323
	一般管理費	283,558,922	240,879,197	42,679,725
	財務費用	5,761,069	8,475,738	△ 2,714,669
	附帯事業費用	18,754,546	26,136,000	△ 7,381,454
	営業外費用	1,090,304	2,027,399	△ 937,095
	経常費用合計 B	3,321,092,115	3,468,335,110	△ 147,242,995
未処分利益剰余金の状況	経常利益 A－B＝C	1,266,034,513	927,648,852	338,385,661
	特別利益 D	0	13,193,597	△ 13,193,597
	特別損失 E	0	13,319,920	△ 13,319,920
	当年度純損益 C＋D－E＝F	1,266,034,513	927,522,529	338,511,984
	前年度繰越利益剰余金 G	0	0	0
	その他未処分利益剰余金変動額 H	1,073,039,552	777,119,019	295,920,533
	当年度未処分利益剰余金 F＋G＋H	2,339,074,065	1,704,641,548	634,432,517

## ○損益の状況

経常収益は、45億8,712万7千円となり、前年度比較で1億9,114万3千円増加しました。これは、年間の降水量、本川流量が平年を上回った結果、発電量が増え、電力料金収入が2億385万2千円増加したことによるものです。

経常費用は、33億2,109万2千円となり、前年度比較で1億4,724万3千円減少しました。これは、改良工事に伴う既存設備の撤去工事費用の減など水力発電費が1億8,224万6千円減少したことなどによるものです。

この結果、経常利益は12億6,603万5千円となりました。

特別利益、特別損失ともなかったことから当年度純利益は経常利益と同額となりました。

※消費税抜き

表－8【剰余金処分計算書（案）】

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	21,576,369,132	17,062,598	2,339,074,065
議会の議決による処分類	1,073,039,552	0	△ 2,339,074,065
組入資本金	1,073,039,552		△ 1,073,039,552
中小水力発電開発改良積立金			△ 1,266,034,513
処分後残高	22,649,408,684	17,062,598	(繰越利益剰余金) 0

## ○剰余金処分計算書（案）

当年度純利益にその他未処分利益剰余金変動額10億7,303万9千円を加えた当年度未処分利益剰余金23億3,907万4千円の処分については、資本金として10億7,303万9千円を組み入れ、中小水力発電開発改良積立金として12億6,603万5千円を積み立てる予定です。

※消費税抜き

## (3) 貸借対照表

表－9【貸借対照表の状況】

(単位：円)

科 目		年度末残高	前年度末残高	年度中増減額
資産の部	固定資産	19,522,968,694	18,852,596,849	670,371,845
	うち電気事業固定資産	14,679,614,929	14,714,718,914	△ 35,103,985
	うち事業外固定資産	1,649,256	21,075,686	△ 19,426,430
	うち固定資産仮勘定	4,594,573,259	3,829,388,486	765,184,773
	流動資産	11,687,455,229	11,067,704,007	619,751,222
	うち現金預金	10,559,373,027	10,504,515,965	54,857,062
	うち前払金	595,292,000	14,734,800	580,557,200
資 産 合 計		31,210,423,923	29,920,300,856	1,290,123,067
負債の部	固定負債	1,198,608,969	1,191,141,355	7,467,614
	企業債	124,644,093	185,397,474	△ 60,753,381
	引当金	1,073,964,876	1,005,743,881	68,220,995
	流動負債	249,478,949	212,486,601	36,992,348
	うち企業債	60,753,381	94,831,497	△ 34,078,116
	うち未払金	126,401,756	59,047,351	67,354,405
	繰延収益（長期前受金）	502,875,300	522,786,138	△ 19,910,838
負 債 合 計		1,950,963,218	1,926,414,094	24,549,124
資本の部	資本金	21,576,369,132	20,794,461,935	781,907,197
	剰余金	7,680,919,073	7,196,791,757	484,127,316
	資本剰余金	17,062,598	21,850,776	△ 4,788,178
	利益剰余金	7,663,856,475	7,174,940,981	488,915,494
	中小水力発電開発改良積立金	5,324,782,410	5,470,299,433	△ 145,517,023
	当年度未処分利益剰余金	2,339,074,065	1,704,641,548	634,432,517
	評価差額等（その他有価証券評価差額）	2,172,500	2,633,070	△ 460,570
資 本 合 計		29,259,460,705	27,993,886,762	1,265,573,943

※消費税抜き

(単位：円)

表－10【内部留保資金残高】

年度末残高	前年度末残高	年度中増減額
11,795,200,151	11,283,309,836	511,890,315

## ○資産の部

資産の年度末残高は、312億1,042万4千円となり、前年度末残高に比べ12億9,012万3千円増加しました。これは、固定資産において成瀬発電所等の固定資産仮勘定が7億6,518万5千円、流動資産において建設工事に対する前払金が5億8,055万7千円、それぞれ増加したことなどによるものです。

## ○負債の部

負債の年度末残高は、19億5,096万3千円となり、前年度末残高に比べ2,454万9千円増加しました。これは、固定負債において退職給付引当金など引当金が6,822万1千円、流動負債において未払金が6,735万4千円、それぞれ増加したことなどによるものです。

## ○資本の部

資本の年度末残高は、292億5,946万1千円となり、前年度末残高に比べ12億6,557万4千円増加しました。これは、前年度の積立金取崩額など7億8,190万7千円を資本金に組み入れたほか、剰余金において当期純利益の増により利益剰余金が4億8,891万5千円増加したことによるものです。

※他会計への長期貸付金を含む



## 2 工業用水道事業

### (1) 決算の概要

表-11【令和4年度決算の概要】

収益的収支 経営活動に及ぼす効果が1事業年度に限られるもの →損益計算書に反映		資本的収支 経営活動に及ぼす効果が長期間にわたるもの →貸借対照表の増減に反映	
収益的収入 1,106,477千円	収益的支出 1,202,235千円	資本的収入 0千円	資本的支出 359,922千円
営業収益 988,838千円	営業費用 897,529千円	収支差 △359,922千円	改良費 150,196千円
営業外収益 ほか	営業外費用 37,686千円		企業債償還金 169,976千円
収支差△95,758千円 (参考) 当年度純損失(税抜) △109,403千円	特別損失 267,020千円		他会計借入金償還金 39,750千円
		補てん	補てん財源内訳 損益勘定留保資金 346,278千円 消費税資本的収支調整額 13,644千円

(2) 損益計算書

表－１２【損益計算書の状況】

(単位：円)

科 目		損益計算書		
		令和４年度	令和３年度	増減額
経常収益	営業収益	898,999,187	899,599,848	△ 600,661
	うち給水収益	898,261,546	899,333,458	△ 1,071,912
	営業外収益	108,425,810	103,415,320	5,010,490
	経常収益合計 A	1,007,424,997	1,003,015,168	4,409,829
経常費用	営業費用	855,435,012	801,415,277	54,019,735
	原水及び浄水費	480,612,973	389,204,793	91,408,180
	減価償却費	361,770,457	393,998,483	△ 32,228,026
	資産減耗費	1,032,248	698,274	333,974
	一般管理費	12,019,334	17,513,727	△ 5,494,393
	営業外費用	27,210,620	29,756,771	△ 2,546,151
	経常費用合計 B	882,645,632	831,172,048	51,473,584
未処分利益剰余金の状況	経常利益 A－B＝C	124,779,365	171,843,120	△ 47,063,755
	特別利益 D	8,562,752	8,064,675	498,077
	特別損失 E	242,745,000	2,309,514	240,435,486
	当年度純損益 C＋D－E＝F	△ 109,402,883	177,598,281	△ 287,001,164
	前年度繰越利益剰余金 G	727,456,148	549,857,867	177,598,281
	当年度未処分利益剰余金 F＋G	618,053,265	727,456,148	△ 109,402,883

○損益の状況

経常収益は、10億742万5千円と前年度とほぼ同額になりました。

経常費用は、8億8,264万6千円となり、前年度比較で5,147万4千円増加しました。これは、原水及び浄水費が、電力料金の高騰による動力費の増加などにより、前年度比較で9,140万8千円増加したことによるものです。

この結果、経常利益は、1億2,477万9千円となりました。これに退職給付引当金の取り崩しによる特別利益856万3千円と旧取水施設撤去工事（令和4年度実施分）による特別損失2億4,274万5千円を加減した当年度純損失は1億940万3千円となりました。

※消費税抜き

表－１３【剰余金処分計算書（案）】

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	5,688,191,784	754,802,595	618,053,265
議会の議決による処分数	0	0	0
処分後残高	5,688,191,784	754,802,595	(繰越利益剰余金) 618,053,265

○剰余金処分計算書（案）

前年度繰越利益剰余金7億2,745万6千円から、当年度純損失を除いた当年度未処分利益剰余金6億1,805万3千円については、処分せず、全額を繰越利益剰余金として繰り越す予定です。

※消費税抜き

## (3) 貸借対照表

表－14 【貸借対照表の状況】

(単位：円)

科 目		年度末残高	前年度末残高	年度中増減額
資産の部	固定資産	17,117,628,439	17,343,889,058	△ 226,260,619
	うち有形固定資産	7,431,644,095	7,700,253,867	△ 268,609,772
	うち建設仮勘定	2,091,344,705	1,983,125,705	108,219,000
	うち除却勘定	6,681,917,496	6,681,917,496	0
	うち無形固定資産	912,715,603	978,585,450	△ 65,869,847
	流動資産	1,855,163,657	2,061,302,805	△ 206,139,148
	うち現金預金	1,753,485,242	1,966,616,242	△ 213,131,000
資 産 合 計		18,972,792,096	19,405,191,863	△ 432,399,767
負債の部	固定負債	1,946,219,640	2,167,025,270	△ 220,805,630
	うち企業債	1,656,647,113	1,829,040,548	△ 172,393,435
	流動負債	248,648,107	248,944,478	△ 296,371
	うち企業債	172,393,435	169,975,867	2,417,568
	うち未払金	31,884,278	34,605,480	△ 2,721,202
	繰延収益（長期前受金）	9,716,876,705	9,818,771,588	△ 101,894,883
	負 債 合 計	11,911,744,452	12,234,741,336	△ 322,996,884
資本の部	資本金	5,688,191,784	5,687,545,121	646,663
	剰余金	1,372,855,860	1,482,905,406	△ 110,049,546
	資本剰余金	754,802,595	755,449,258	△ 646,663
	利益剰余金	618,053,265	727,456,148	△ 109,402,883
	資 本 合 計	7,061,047,644	7,170,450,527	△ 109,402,883

※消費税抜き

(単位：円)

表－15 【内部留保資金残高】

年度末残高	前年度末残高	年度中増減額
1,823,229,428	2,026,542,261	△ 203,312,833

## ○資産の部

資産の年度末残高は、189億7,279万2千円となり、前年度末残高に比べ4億3,240万円減少しました。これは、固定資産が資産の償却などにより2億2,626万1千円、流動資産において特別損失の発生などにより現金預金が2億1,313万1千円、それぞれ減少したことなどによるものです。

## ○負債の部

負債の年度末残高は、119億1,174万4千円となり、前年度末残高に比べ3億2,299万7千円減少しました。これは、固定負債が企業債の償還などにより2億2,080万6千円、繰延収益が償却資産の取得に伴い交付された補助金などの償却により1億189万5千円、それぞれ減少したことなどによるものです。

## ○資本の部

資本の年度末残高は、70億6,104万8千円となり、前年度末残高に比べ1億940万3千円減少しました。これは、当年度純損失を利益剰余金で補填したことによるものです。

## 令和4年度秋田県公営企業会計未処分利益剰余金の処分について

公 営 企 業 課

経営活動により得られた当年度未処分利益剰余金は、その用途を定めることにより、公営企業の健全な運営に必要な内部留保資金として活用が可能となることから、令和4年度の未処分利益剰余金を次のとおり処分する。

### 1 電気事業会計

その他未処分利益剰余金変動額（決算年度における積立金取崩相当額）は資本金に組み入れ、当年度純利益は、発電所の新規開発や大規模改良に備え、中小水力発電開発改良積立金に積み立てる。

項 目		金 額 (円)
当年度未処分利益剰余金 ①		2,339,074,065
内 訳	当年度純利益	1,266,034,513
	その他未処分利益剰余金変動額	1,073,039,552
処分予定額 ②		2,339,074,065
内 訳	組入資本金	1,073,039,552
	中小水力発電開発改良積立金	1,266,034,513
翌年度繰越利益剰余金 (①－②)		0

### 2 工業用水道事業会計

未処分利益剰余金は、現在実施している旧取水施設撤去工事への備えとして、全額を繰越利益剰余金とする。

項 目		金 額 (円)
当年度未処分利益剰余金 ①		618,053,265
内 訳	当年度純損失	△ 109,402,883
	前年度繰越利益剰余金	727,456,148
処分予定額 ②		0
翌年度繰越利益剰余金 (①－②)		618,053,265